



四砂中だより

第12号

令和8(2026)年3月13日
江東区立第四砂町中学校
校長 宮脇 聡
<https://4suna-chu.koto.ed.jp>

ひたむきに そして しなやかに

校長 宮脇 聡

早いもので、今年度も最後の月を迎えました。校庭の木々の蕾が少しずつ膨らみ始めるこの時期は、別れと始まりが交差し、ふとした時に緊張感を感じ、どこか背筋の伸びるような心地がいたします。

さて、学校ではよく、皆さんに「夢を持ちなさい」「最後まであきらめるな」「新たな挑戦をしてみよう」という言葉をかけています。それは、中学生の皆さんには何かを実現させるためには努力を惜しむな、と言いたいからです。そして皆さんには無限大の可能性があると信じているからです。

しかし、もうすぐ人生の節目を迎えようとしている皆さんに、今、伝えておきたいことがもう一つあります。

それは、「自分自身と折り合いをつける」ということの尊さです。実は一昨年度本校で講話をしていただいた高校の先生の先生がおっしゃっていたことです。私はハツとし、自身の心の中に落ち、大きくなずいたことを覚えています。

「折り合いをつける」ことは、決して「あきらめる」ことではありません。それは、「今の自分ができるすべてを出し切った」と、自分自身を認めてあげることです。時には、思い描いていた理想と、現実の結果が違うこともあるでしょう。しかし、そのときに自分を責めたり、無理に抗い続けたりするのではなく、「よし、ここまでやり抜いた」と心から納得することです。その決断は、次の一步を踏み出すための「整理」なのです。もしかしたら知らず知らずのうちにそうやって歩いてきている人もいるかもしれません。

物事には二面性があります。いえ、もっと多くの考え方があるかもしれません。ネガポジ変換（ネガティブな言葉をポジティブに捉えなおすこと）もその一つです。物事の見方を少し変えると、違った何か、新しい価値があることに気付くかもしれません。

一つの扉が閉まることは、別の新しい扉が開く合図でもあります。折り合いをつけたその瞬間に、心にふっと余裕が生まれ、今まで見えていなかった「次の素晴らしい景色」が見えてくる、そうではないでしょうか。

今まで見えていなかった周りの優しさや、自分の中に眠っていた別の才能に気づくこともあります。折り合いをつけた先に待っているのは、「妥協した自分」ではなく、「新しい可能性を手にした自分」です。

これから先、皆さんは何度も選択を迫られるでしょう。そのとき、がむしゃらに頑張る時期があってもいい。でも同時に、自分を責めることなく、しなやかに納得する心も忘れないでください。

結果以上に大切なのは、「自分に嘘をつかず、誠実に決断したか」「他の人に対する感謝やリスペクトを忘れてしまっていないか」ということです。それができる人は他人に対しても優しく、寛容になれます。追いかけている夢がかんう以上の、人としての素晴らしさを手にすることにつながるかもしれません。

私は、皆さんにはそんな「人として素晴らしい、素敵な人」になってほしいと願っています。

この一年、皆さんと共に歩めたことをうれしく思います。



2学年 校外学習 2月6日

2月6日、校外学習として鎌倉方面に出かけました。班ごとに集合して、錦糸町でチェックを受け出かけました。天気には恵まれましたが、他の中学校もたくさん来ていてどこも混雑していました。

当日は、鶴岡八幡宮、高德院、銭洗弁財天宇賀福神社の1つは必ず見学することとして、自分たちで行程を組みました。

事前学習で鎌倉について、地理的なことや歴史について調べ、行きたいところを絞り込み行程を考えました。当日は、予定していた昼食場所が非常に混んでいて、変更せざるを得なかったり、見学に時間がかかり行程を変えた班もあり、本部に報告をし、指示を仰ぎました。

自分たちで実際に鎌倉を歩き、歴史や自然を感じ、個々に新しい発見につながったのではないのでしょうか。事前に学習したことも活かされたことでしょう。

2年生は来年度の修学旅行では、広島、京都・奈良を訪れることとなります。ここでも仲間たちと共に多くのことを学びましょう。



1学年 豊かな活動体験 劇団四季 LION KING 鑑賞



江東区の豊かな活動体験事業として今年度から中学1年生で有明四季劇場で行われているミュージカル「ライオンキング」を観に行けることとなり、2月18日に出かけました。

最初の公演から少しずつバージョンアップされており、歌や音楽、ダンスの表現はもとより、その動きやフォーメーション、また、衣装やメイク、照明や小道具から、舞台転換等、舞台美術や演出に引き込まれ、会場と舞台が一体となり大きな感銘を受けて帰ってきました。

舞台上で活躍されていた俳優の一人は、たまたま観に行った劇団四季のミュージカルの魅力に取りつかれ、自身も目指そうと決意し、練習を重ねて役を勝ち取ったと紹介されていました。歌やダンスをはじめ様々な見どころがあったと思います。まさに豊かな活動体験となりました。



3学年 薬物乱用防止教室 3月4日



3年生を対象に薬物乱用防止教室を開きました。講師は、『何度でもやり直してできる。東京ダルクは薬物問題に苦しむ方の回復を支援しています』とうたっている東京ダルクから来られた2名です。お2人とも現在は薬物を“とめられている”という方です。お一人はとめて19年、これでも“やめられた”とは言わないとおっしゃっていました。それほど薬物は依存性が強いということでしょう。

大麻や覚せい剤のような違法薬物だけでなく、処方薬や薬局で買える市販薬でも発症することがあるため、誰にとっても無関係ではないのです。最近ではOD（オーバードーズ）という言葉をよく聞きますが、これも立派な薬物乱用で、指定された分量以上に飲むことは危険で、依存の入り口となり、大切なものを失い、人生を台無しにしてしまうということです。その恐ろしさを改めて教えていただきました。

しっかりお話をしてくださったお二人に感謝し、私たちも気を引き締めたいところです。

笑顔と学びのプロジェクト 「笑って学ぶSDGs」

3月5日、「笑顔と学びのプロジェクト」として笑って学ぶSDGsを実施しました。講師は、笑下村塾（しょうかそんじゅく）所属の 新宿カウボーイさん とドングリたけしさん でした。



お笑い芸人のお二方からはまずご自分たちのネタを披露していただき、その後はSDGsに関するクイズ、説明を行っていただきました。その後はSDGsカードを用いて生徒同士で理解を深め、感想や発表を行いました。お二方を知っている生徒や教員は大喜びでした。また、生徒自身が皆の前で自身のお笑い芸を披露する場面もあり、笑いながら学ぶことができました。SDGs達成の2030年は目の前に迫っています。自分事として何ができるかしっかり考える機会となりました。ありがとうございました。



展覧会 力作が並びました



保護者の皆様、1年間、ご協力・ご理解をいただき、ありがとうございました。
来年度も生徒のさらなる成長を後押ししてまいります。